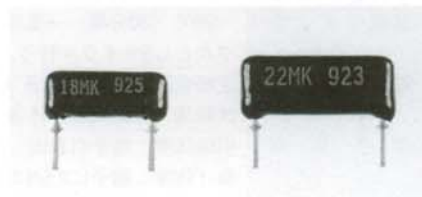


板状高電圧用厚膜抵抗器 (MRHシリーズ)

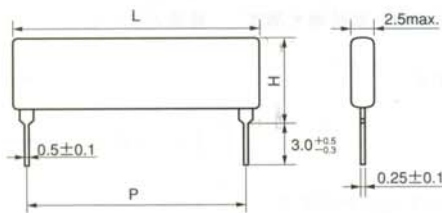
■特長

- 抵抗値範囲 (0.5MΩ~500MΩ) が広く、各種電源応用が可能です。
- 高電圧でありながら、抵抗温度特性 (T.C.R.) ±250ppm/°C と小さく高性能設計が可能です。
- 形状及び取り付けピッチにより多岐多様が可能です。
- 板状形のため高密度実装が可能です。
- 使用温度範囲が広く設計がしやすい製品です。



■形状寸法

単位mm



端子間ピッチ 記号	Hmax.				Lmax.	P±0.2
	MRH05	MRH06	MRH07	MRH10		
03	5.0	6.35	7.5	10	10.2	7.62
04					12.7	10.16
05					15.3	12.70
06					17.8	15.24
07					20.4	17.78
08					22.9	20.32
11					30.5	27.94
18					48.3	45.72

■電気的定格

形名	抵抗値 許容差 *	定格電力及び最高使用電圧																		
		03		04		05		06		07		08		11		18				
		W	kV	W	kV	W	kV	W	kV	W	kV	W	kV	W	kV	W	kV			
MRH05	F, G, J	カスタム対応致します。詳しくは弊社までお問い合わせください。																		
	K, M	0.6	3.2	0.7	4.8	0.8	5.5	0.9	6.7	1.0	7.4	1.1	8.6	-	-	-	-			
MRH06	F, G, J	0.2	2.0	0.3	3.0	0.4	4.0	0.5	5.0	0.6	6.0	0.7	7.0							
	MRH07	K, M	0.7	3.2	0.8	4.8	0.9	5.5	1.0	6.7	1.1	7.4	1.2					8.6		
F, G, J		0.3	2.0	0.4	3.0	0.5	4.0	0.6	5.0	0.7	6.0	0.8	7.0							
MRH10	K, M	0.8	3.2	0.9	4.8	1.0	5.5	1.1	6.7	1.2	7.4	1.3	8.6							
	F, G, J	0.4	2.0	0.5	3.0	0.7	4.0	0.9	5.0	1.1	6.0	1.4	7.0					1.7	10	2.7
K, M	0.9	3.2	1.1	4.8	1.3	5.5	1.5	6.7	1.7	7.4	1.9	8.6								

*抵抗値許容差は、F: ±1%、G: ±2%、J: ±5%、K: ±10%及びM: ±20%とします。

■抵抗値範囲及び抵抗温度特性

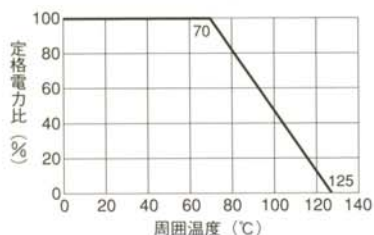
製作抵抗値範囲: 500kΩ~500MΩ

ただし、製作抵抗値は、25及び50を含めたE-12数列为原則とします。

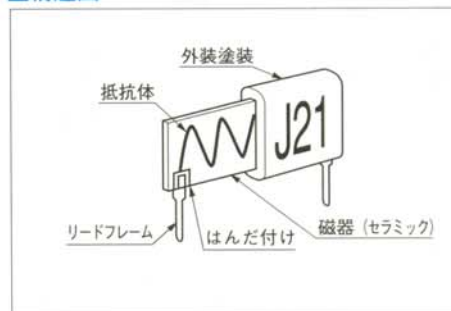
抵抗温度特性 : ±250ppm/°C

■負荷軽減曲線

周囲温度70°C以上でご使用の場合は下図の軽減曲線に従って定格電力を軽減して下さい。



■構造図

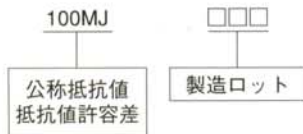


■性能

項目	試験方法	規格値
抵抗温度特性	-25℃～+125℃において	±250ppm/℃以内
温度サイクル	-25℃ (30分間) → 室温 (2～3分間) → +125℃ (30分間) → 室温 (2～3分間) を1サイクルとし5サイクル行う。試験後、1～2時間経過してから抵抗値を測定する。	±(2%+0.05Ω)以内
短時間過負荷	定格電圧の2.5倍の電圧を5秒間印加する。ただし、最高使用電圧の2倍を越えないこと。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(2%+0.05Ω)以内
端子強度	引張強度：端子引き出し方向に5Nの荷重を30秒間加える。 曲げ強度：端子に2.5Nの荷重を加えた状態で、2～3秒間の速さで本体を約90度に折り曲げ元に戻す。次に、反対方向に本体を2～3秒間の速さで本体を約90度折り曲げ元に戻し、抵抗値を測定する。	±(0.5%+0.05Ω)以内
絶縁抵抗	端子と外装塗料間 (金属小球法) に500V (d.c.) を1分間印加後に絶縁抵抗値を測定する。	10,000MΩ以上
耐電圧	端子と外装塗料間 (金属小球法) に500V (a.c.) を1分間印加する。試験後、抵抗値を測定する。	異常のないこと
はんだ耐熱	260±5℃のはんだ中に端子を10 ⁺ 秒間は350±10℃、3秒間浸せきする。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(2%+0.05Ω)以内
耐湿寿命	温度40℃、相対湿度90～95%の槽中で無負荷自然放置1000時間。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(5%+0.05Ω)以内
負荷寿命	温度70℃の槽中で定格電圧を90分間負荷し、30分間休止するサイクルを1000時間行う。試験後、1時間以上経過してから抵抗値を測定する。	±(3%+0.05Ω)以内
耐溶剤性	2-プロパノールに60秒間浸せきする。	外装及び表示に異常がないこと

■表示

例)



■品名の構成・ご発注方法

ご発注の場合は以下の品名の構成によってご発注下さい。なお、ご発注される場合の数量は、最小包装単位のn倍にてお願いいたします。

例)

